

# 年 度 評 価 シ ー ト

課名 産業政策課

施設の名称 静岡市文化・クリエイティブ 産業振興センター（CCC）	指定管理者名 株式会社ピーエーシー
1 履行状況 <hr/> <b>【業務実施状況】</b> ■仕様書に定める指定管理業務であるクリエイター支援業務、センター利用許可業務、施設管理業務、その他施設運営に必要な業務については、事業計画書等に従って適切に遂行された。 ■事業計画書に定める基本方針に沿って事業が実施された。「静岡のすごい技、見せます。メーカーとクリエイターのものづくり展」ではクリエイターと地元企業との交流に加え、学生や企業家に文化・クリエイティブ産業振興の意義を伝える機会を提供できた。2018年度に引き続いて開催した市民参加型ワークショップ「フューチャーセッション2019」や静岡コピーライターズクラブの協力のもと実施したコピーライティング講座「SCCコピーの学校 inCCC」はクリエイターのスキルアップや能力開発という成果につながった。また、クリエイターと企業のマッチング事業「design trans project」ではコンセプトに「デザイン経営」の要素を取り入れ、販路開拓を意識した商品開発を行っている。 （その他の主な事業） 「SCC広告セミナー『あのCMが、できるまで(の裏話)。』」「クリエイティブビジネス相談」「高江友作 個展『T stool』展」「わたしのマチオモイ帖」「茂木健一郎セミナー」「FM-HI!高校生ラジオDJコンテスト」「JAGDAつながりの展覧会」「街カルinCCC」「服部正志トリック3Dアート魔法の絵画展」「しずおかクリエイターズHUB」など <b>【施設利用状況】</b> ■ギャラリーの稼働率は約75%と高い稼働率となっている。交流研修ルームや多目的ルームの利用については継続して周知していく必要がある。 <b>【人員配置状況】</b> ■指定管理業務の遂行にあたり、必要な人員数がそろっている。企画・運営面でも経験豊かな人材が選定されている。 <b>【会計処理状況】</b> ■出納金は適切に管理され、適正に会計処理が行われている。	
2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等） ■利用者からの意見・要望については、利用者アンケートにより積極的に取り入れる体制が整っており、適切な対応がとられている。 <b>【具体的な意見・要望と対応状況例】</b> 〈事業運営について〉 意見等：展示物の説明が欲しい。館内にBGMが欲しい。 対応：個々の事業コンセプトや展示物に応じて対応している。	

〈施設設備について〉

意見等：施設の場所や入口がわかりづらい。

対応：チラシ等への拡大地図掲載や、施設への動線看板を設置した。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

- 施設利用者に対しては、各セミナー終了後や、展示会ごとにアンケート調査を行い、「とてもそう思う」、「思う」という評価が86%であり、総じて施設利用者の満足度は高い。
- アンケートでは、年代・性別にかかわらず、幅広い層が来館していることや、初めて利用した人の割合が半数を超えていることなどから、施設の継続した事業展開により、CCCの認知度が向上していると評価できる。
- 事業や企画内容に対しては利用者から概ね高い評価をいただいている。一方で展示方法や参加者とクリエイターとの関わりなど、企画ごとの運営については利用者からの要望、意見が多く見受けられるので、企画ごとに改善を図ってほしい。

4 指定管理者の経理状況の評価

- 指定管理業務についての収支状況は、概ね予算どおりに執行されており、良好である。なお、新型コロナウイルス感染症の影響による「七間町ハプニング4」の中止など、事業支出の減額により生じた剰余金(約900万円)については次年度に繰り越し、新規事業の展開等に利用する。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

【成果】

- 年度ごとの数値目標(利用者数、利用者満足度、マッチング件数、クリエイター集積数)については利用者満足度を除き、いずれも目標数値を上回った。利用者満足度についても目標数値との乖離は小さく、事業全体としては着実に成果があがっている。
- 子どもやファミリー層をターゲットにした絵画展や障害のある方の作品展を開催したことで事業の裾野を広げ、文化・クリエイティブ産業振興の形を多方面に展開できている。同様の取り組みを次年度以降も引き続き実施してほしい。
- 中止にはなったが七間町ハプニングなどのパフォーミングアーツ関連事業は、地域活性化の側面も持ち合わせているので、引き続き地域の理解を得ながら事業の深化を図ってほしい。
- 平成30年度実施事業「しずおかるた」プロジェクトがグッドデザイン賞を受賞した。CCCが行ってきた文化・クリエイティブ産業振興事業への評価を得、市内外にCCCの活動を発信することができた。

【課題】

- HUB登録のメリットを増やしたり市民の事業理解度に合わせた事業展開をしたりすることで、クリエイター・一般市民双方に対するCCCの魅力をさらに高める。
- 企業とクリエイターのマッチング機会を増やし新たな商品や産業を生み出していく。
- CCCを拠点としてクリエイターが地域住民や一般市民との接する機会を増やし、CCCやクリエイターへの理解を深めていく。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。